



こちら鹿児島市小野町 武岡台養護学校 進路指導情報局

令和4年度第1号

令和4年7月20日
鹿児島県立武岡台養護学校
進路指導係

☆「めざそう！なりたい自分」

本校の進路指導キャッチフレーズです。児童生徒一人一人の豊かな自立と社会参加を目指し、日常的な取組を学校・家庭・地域で連携して行い、本人の自己選択・自己決定、主体的な取組を支えていくことを表した目標です。



- ・現在の進路室はD棟2F高等部学部室内です。
- ・施設パンフレットや企業情報などたくさんあります。随時相談受付中です。（お気軽にどうぞ）

保護者の皆様へお知らせとお願い

本校では、学部行事及び学部PTA、学年PTA、PTA進路・研修部企画行事など様々な機会、進路指導に関する情報提供や研修の機会を設けています。積極的に参加、活用していただき、早い時期から情報収集に努めるとともに、児童生徒一人一人の将来の生活を考えた具体的な取組を進めていくことが大切です。小学部1年生だからまだ早い、ということはありません。遠慮せず一緒に子供たちのこれからを考えていきましょう。



よろしくお願いします！

主任：海江田、実習担当：山口

進路担当より

- ・個別の教育支援計画（個別の指導計画）をもとに、児童生徒の「できること」「難しいこと」「支援があればできること」を整理しましょう。
- ・障害福祉サービス事業所等の積極的な見学をお勧めします！
- ・事業所情報（パンフレットやチラシ）などの配付依頼がきたら、連絡帳便で配付します。
- ・ミーティングや進路相談、それ以外の機会でも進路について不安なことや聞きたいことなど担任の先生や進路担当に気軽に御相談ください。

鹿児島県障害者技能競技大会「アビリンピックかごしま2022」

7月9日（土）～10日（日）ポリテクセンター鹿児島（鹿児島市）で開催されました。障害のある方が日頃培った職業技能を競う大会です。今年は、本校高等部から4競技8人の生徒が選手として参加しました。一般の選手や他校高等部生徒、多くの参観者の前で緊張しながらも精一杯練習の成果を発揮することができました。目標を持ち取り組む過程で学ぶことや挑戦することの大切さを生徒たちの姿から感じる貴重な機会となりました。



入賞者		
縫製	銀賞	N・H（3年）
ビルクリーニングB	銅賞	N・N（3年）
ワード・プロセッサ	銅賞	K・R（3年）

～小学部の進路指導について～

小学部の保護者の方々から「進路」のことについて「よく分からない」「まだまだ先のこと」「まだイメージできない」というお話を聞きます。進路というものを高等部や卒業後のことと捉えがちだからかもしれません。しかし、小学部で行われている日々の学習や生活のすべてが、将来の社会生活(進路)につながっているのです。今回は、小学部で行う日々の学習が、人と人との関わりを広げ、個性を伸ばし、様々なことにチャレンジし、その経験が将来の選択を広げる土台の一つとなる具体的な例を挙げてみます。

(小学部担当 山田(奈))

集団に参加する

最初は、集団に慣れなくて、ドキドキしていたけど、経験をたくさんすることで見通しがもてるようになり、落ち着いて合同学習に参加できるようになりました。

好きなことを増やす

築山で友達と一緒に草そりをして、体を動かすことが大好きになり、健康な体、体力づくりにつながりました。

お願いします

車椅子から降りたいときに「手伝ってください」と、依頼できるようになりました。

自分の役割を果たす

毎朝、学級の健康観察簿を保健室に責任をもって一人で持って行けるようになりました。



そうなんです！

すべてが「進路」につながっているのです！

ほしいものを選ぶ

「好きなものはどっち？」二つの物から視線や言葉で自分の考えや気持ちを伝えることができるようになりました。

～6年生が中学部の「作業学習」を参観してきました～



ミシンでの作業、エコバッグ作りや皿に絵付けをしている様子など、先輩たちが頑張る姿を説明を聞きながら、真剣なまなざしで見っていました。

中学部 働くための力を付ける！！ための取組

○ おそうじ教室

高等部進路指導係の先生を講師に招いたおそうじ教室も、今年で3年目となりました。中学部に在籍する3年間で様々な掃除の仕方について学べるよう、1年生は机上清掃（台拭き）、2年生はダスタークロス、3年生は自在ぼうきについて学習しています。講師による実演では、高等部の先輩たちが取り組んでいる特別支援学校技能検定清掃部門のマニュアルに沿った実技を見せてもらいました。講師の所作や一つ一つの手順、用具の取扱い方などをみんな真剣な表情で見っていました。

その後、掃除をする上での心構え、語先後礼の挨拶の仕方から具体的な掃除の手順まで説明を聞きながら実際に取り組みました。用具の持ち方や手の向き、姿勢などのポイントを直接確認しながら取り組むことで、回数を重ねるごとにコツをつかんでいました。今後、家庭や学校などの日常生活の中で生かしていくことを期待しています。



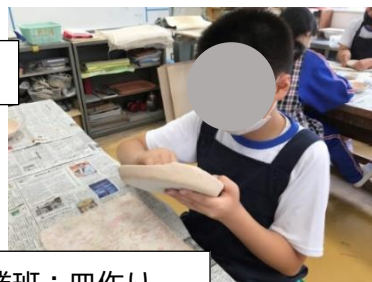
○ 作業学習、前期校内実習

中学部では働くための力を付ける学習として週2回作業学習に取り組んでいます。6月にはその作業学習を5日間終日継続して行う「前期校内実習」を実施しました。今年度は、高等部の実習激励会（セミナー）で講師の先生が話された「働く上で、挨拶・返事・後片付けが大切」などの内容をみんなで再確認し、「挨拶・返事・報告をする」「時間いっぱいがんばる」「みんなで協力する」「安全に気を付ける」という4つの目標をより意識して取り組みました。

事後学習では、出来上がった製品や校内実習の写真、VTRを見ながら振り返り、自分たちの作業に達成感を得られたようです。今後も継続して作業学習に取り組み、後期校内実習や製品の販売学習（1月）へとつなげていく予定です。



園芸班：エコバッグ作り



窯業班：皿作り



家庭班：ビーズでの製品作り



紙工班：紙すき、アイロン掛け

（中学部主任 波平）

高等部

○ 実習激励会（セミナーの部） 6月17日（金）

講師として株式会社 JR 鹿児島シティ（アミュプラザ鹿児島）営業部販売促進課の本田ちひろ様をお招きし、職場実習前の心構えや社会人として必要な力について講話をしていただきました。



- ① サービスは形からではなく「心」から
 - ・「ありがとうございます」お礼の言葉をすぐに伝えられる→信頼につながる
 - ・会社の看板を背負っている意識（職場実習先でも）
- ② 第一印象は6秒で決まる！
 - 身だしなみや姿勢、挨拶の大切さ
- ③ 人生を豊かにする3つの行い
 - 挨拶（あいさつ）、返事（へんじ）
 - 後片付け（あとかたづけ）



実技指導①自分から挨拶をする



実技指導②丁寧なお詫びの言葉



講師の本田様がとても明るくはつらつとした表情や口調で講演をしてくださったことで、生徒たちもみるみる表情が明るくなり実習へのやる気 UP につながりました！

○ 前期産業現場等における実習 6月20日（月）～7月1日（金）※土日を除く

高等部2，3年生は校外の企業や障害福祉サービス事業所で，1年生は学校内で10日間職場実習に取り組みました。学校で学んでいる「働く力」を社会の中で実践し，卒業後の社会生活を具体的に考える学習機会です。生徒たちの具体的な取組例を実習先からのアドバイスと一緒に紹介いたします。

実習先	取組内容	実習先からのアドバイス
事業所①（新屋敷町） 	・就労継続支援B型 ・チラシ（封入，帳合），清掃（公園，店舗）ほか ・民間バスで25分乗車→バス停から徒歩15分の自主通勤	遅刻することなく10日間出勤できました。作業内容については言葉だけでなくモデルを示すことで理解が増したようです。意思表示や内容の確認時は筆談を交えた支援を行うことでスムーズにできました。
事業所②（始良市） 	・企業 ・ピッキング（指定された商品のピックアップ作業），包装，出荷作業 ・事業所近くのグループホームに宿泊し自主通勤（徒歩）	気持ちのいい挨拶と積極的な仕事への取組でした。クール作業室の寒さにより作業が中断されることがありました。1日の業務をこなせる体力を維持できる体づくりに取り組んでもらえると今後につながると思います。
事業所③（石谷町） 	・生活介護 ・音楽，レク，体力づくりなど（グループ活動） ・保護者送迎	10日間表情も良く笑顔がたくさん見られました。活動ではタイマーを使って見通しを持てていましたので，これから少しでも取り組む時間を増やせたらいいと思います。トイレを伝える方法が増えるといいと感じました。

（高等部 海江田）